

玉子や鶏、そして農業や自然のことについて書きちらかしているのが本紙「たまご新聞」です。としたら今週の記事、相撲も八百長も、あまり関係があるようには思えません。どっこい、下記に用語解説を転載しておきました。そう、野菜を売る八百屋さんが語源ということで、かすってるでしょ。(強弁)

## 「国技」とやらに似せられるかも、八百長



本文に出てくる豪華別荘と、本文とは無関係な深窓の奥様。ではなく、元・豆腐屋のおかみさん。

まず、まるで本題とは関係のない自慢!から。ここ3年ほど連続して、夏に北海道十勝で超豪華な別荘に泊めてもらっています(上写真)。インターネットを通じて知り合っただけなのですが、お招きに甘えています。ご当主は夏のみ滞在で、冬は東京麻布のマンションで暮らしているという、ちょっと想像もむずかしい人物です。

そんなセレブが、みずからのブログにこんなことを書いていました。

相撲の八百長が大騒ぎになっています。

八百長は確かに道義的に責められて当然の行為ですが、なにかこれを戒める法律ってあるんでしょうか?

法律に触れない行為だとすれば、それに関わる私信メールを公開しちゃった警察は、『電気通信法』はもとより、『日本国憲法』に違反しているように思えるんですが、いかがなものでしょう?

TVを始めとするマスコミは一斉にピーチクパーチクいつてますが、こういう疑問符を投げる者は誰一人いませぬね。『通信の秘密』の侵害は、警察国家への一里塚なのに・・・

この事件に関して、こんな疑問を抱くワタイって、やっぱり“へそ曲り”?

同感するところがあって無断で転載しちゃいました。ま、「公益法人」として放置できないとか、「国技」にあるまじき行為だとか、後から理屈はつけるんでしょうけどね。

**【八百長】**八百長は明治時代の八百屋の店主「長兵衛」に由来するといわれる。八百屋の長兵衛は通称を「八百長」といい、大相撲の年寄・伊勢ノ海五太夫と囲碁仲間であった。囲碁の実力は長兵衛が優っていたが、八百屋の商品を買ってもらおう商売上の打算から、わざと負けたりして伊勢ノ海五太夫の機嫌をとっていた。



里のギャラリー 137

話は飛んで、いま国会が開会中です。民主党の公約違反の数々もひどいけど、自民党の追及のポーズにもあきれます。企業減税のいっぽうでの消費税増税とか、あるいはTPPとか、国のあり方を変えてしまいかねない大問題について、基本的な方向性にちがいはないくせに、本質的でないところで声を張り上げてみせています。

さらにマスコミも、2大政党とやらの嘘っぱちの対立構図をあおってみせるばかり。いわば八百長国会に八百長報道ではないか。ガチンコ勝負を挑んでいる共産党はといえば、有権者の支持率もさっぱりです。

そんな姿が、わが日本の本質だとすれば、八百長がまかりとおる大相撲こそ、まさに国技としてふさわしいじゃないかあ? なんて納得を抱くワタイって、やっぱり“へそ曲がり”?

しかし、その後、回向院近くの基会所開きの来賓として招かれていた本因坊秀元と互角の勝負をしたため、周囲に長兵衛の本当の実力が知れわたり、以来、真剣に争っているようにみせながら、事前に示し合わせた通りに勝負をつけることを八百長と呼ぶようになった。(隠語)大相撲では「注射」ともいう。真剣勝負は「ガチンコ」。

インターネット「ウィキペディア」から